

5. PAZ内の全面緊急事態 における対応

<対応のポイント>

- 1. バス避難に必要となる輸送能力を確保し、避難を開始すること。
- 2. 避難先の受入れ体制を整えること。
- 3. 安定3ウ素剤を配布していない者等に、緊急配布すること。

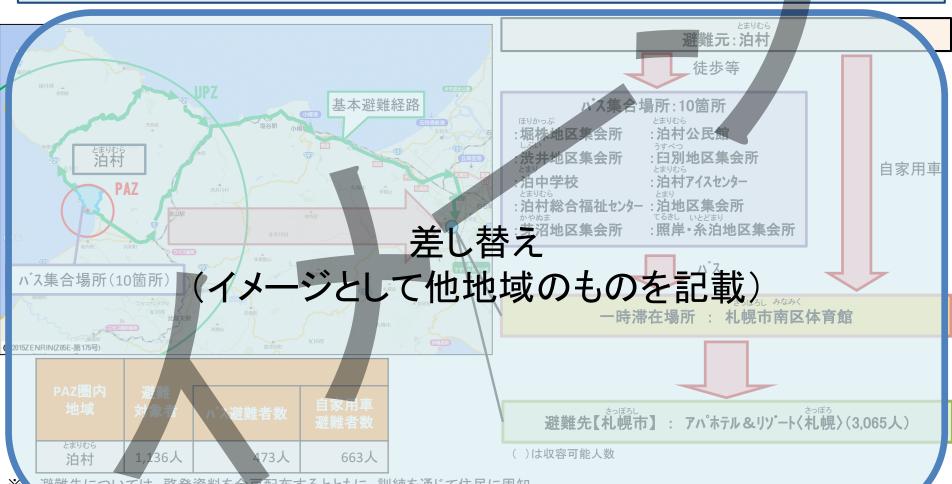
東海村におけるPAZ内の住民の避難先及び避難住民数



(5-1)

とうかいむら

- 東海村におけるPAZ内の住民については、自家用車で避難する住民は、自家用車により、避難先 に移動。
- n、スで避難する住民は、徒歩等で各n、ス集合場所に集合し、n、スにより避難先に移動。



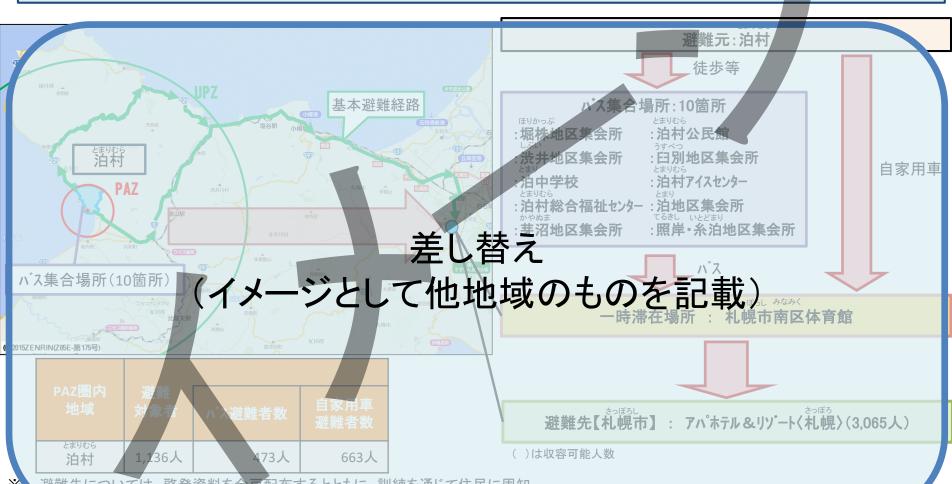
日立市におけるPAZ内の住民の避難先及び避難住民数



(5-1)

ひたちし

- ▶ 日立市におけるPAZ内の住民については、自家用車で避難する住民は、自家用車により避難中継 所を経由して避難先に移動。
- バスで避難する住民は、徒歩等で各バス集合場所に集合し、バスにより避難先に移動。



※ 避難先については、啓発資料を全戸配布するとともに、訓練を通じて住民に周知

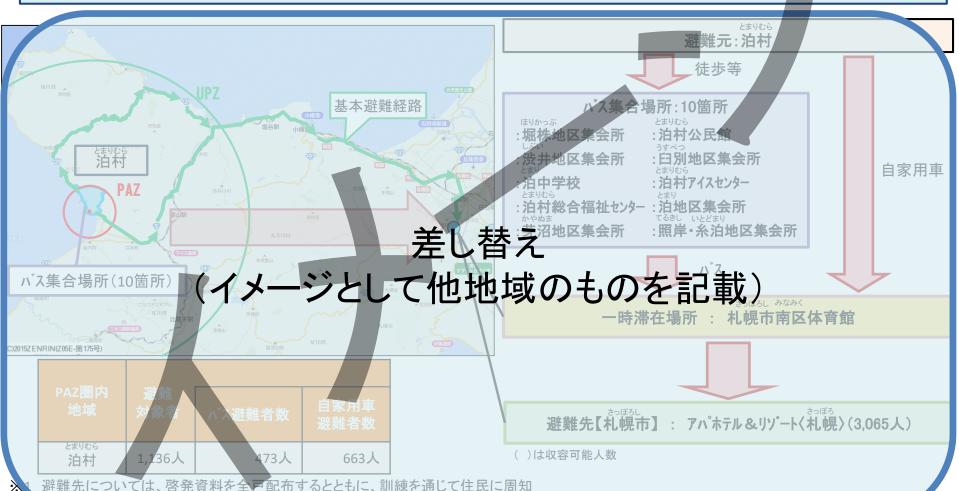
※2 芝難対象者数は、PAZ圏内住民の合計数から施設敷地緊急事態で避難する住民を引いた数字であり、若干の増減がある

ひたちなか市におけるPAZ内の住民の避難先及び避難住民数



(5-1)

- ひたちなか市におけるPAZ内の住民については、自家用車で避難する住民は、自家用車により避 難中継所を経由して避難先に移動。
- バスで避難する住民は、徒歩等で各バス集合場所に集合し、バスにより避難先に移動。



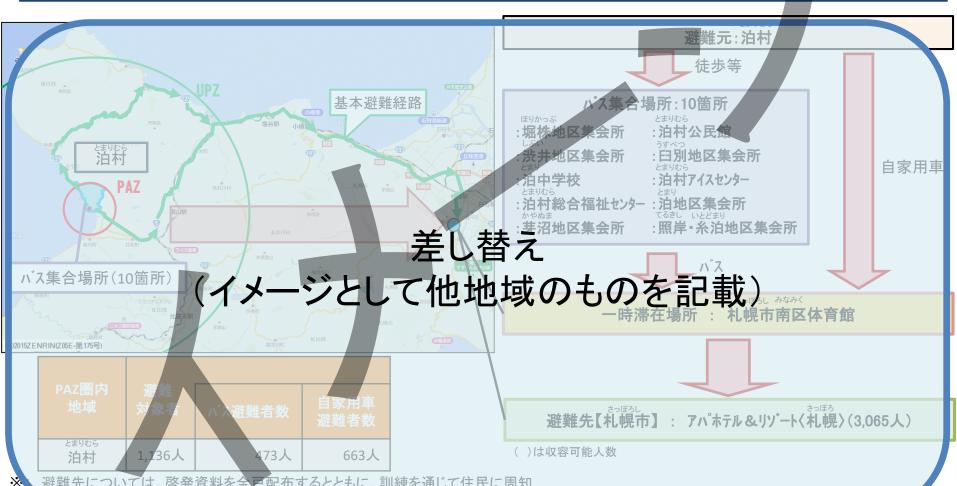
那珂市におけるPAZ内の住民の避難先及び避難住民数



(5-1)

な か し

- ▶ 那珂市におけるPAZ内の住民については、自家用車で避難する住民は、自家用車により、避難先に移動。
- ▶ バスで避難する住民は、徒歩等で各バス集合場所に集合し、バスにより避難先に移動。



Wa 整数分色を数は paz関内住民の合計数から佐訳動地取名車能で避難する住民な引いた数字でもし 英工の増減が

《2 『難対象者数は、PAZ圏内住民の合計数から施設敷地緊急事態で避難する住民を引いた数字であり、若干の増減がある

東海村において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保



(5-2)

- ▶ ○○○○は、住民避難用バスを調整・確保する。

とまりむら

〈沪村において王田系忌事忠で必安とはる쀄込能力〉

	想定対象人数※	必要事両台数	備考
ハ スにより避難する住民	473人	17台	ルス集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P46】

※ 数字は現段階で泊村が把握している暫定値

とまりむら

<泊村における全面緊急事態での輸送能力の確保>

(イメージとして作	し替え めんのを	備考 記載)
(A)必要車両台数	17台	
(B)確保車両台数	計17台以上	
確保 北海道バス協会	17台以上	PAZ・UPZ町村が所在する後志 地域のバス会社が保有する車両 総数1,252台

※ 本別の事能により確保した輸送能力で対応できない場合 室動組織(警察 消防 海保庁 白衛隊)に支援を要請

日立市において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保



(5-2)

- ▶ 日立市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、約●人分:バス●台であり、茨城県は〇〇〇に住民避難用バスの確保を要請。
- ▶ ○○○○は、住民避難用バスを調整・確保する。

とまりむら

〈沪村において王田系忌事態で必安とはる制达能力>

	想定対象人数※	必要車両台	数	備考
バスにより避難する住民	473人		17台	易所にて乗車 140人の乗車を想定 】

※ 数字は現段階で泊村が把握している暫定値

とまりむら

<泊村における全面緊急事態での輸送能力の確保>

(イメージとして作	し替え めんのを	備考 記載)
(A)必要車両台数	17台	
(B)確保車両台数	計17台以上	
確保 北海道バス協会	17台以上	PAZ・UPZ町村が所在する後志 地域のバス会社が保有する車両 総数1,252台

※ 本別の事能により確保した輸送能力で対応できない場合 宝動組織(警察 消防 海保庁 白衛隊)に支援を要請

ひたちなか市において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保



- ひたちなか市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、約●人分:
 がえ●台であり、茨城県 は〇〇〇〇に住民避難用バスの確保を要請。
- ▶ ○○○○は、住民避難用バスを調整・確保する。



とまりむら

	想定対象人数※	必要車両台数	備考
n`スにより避難する住民	473人	17台	ス集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P46】
			レキリから

※ 数字は現段階で泊村が把握している暫定値

とまりむら

<泊村における全面緊急事態での輸送能力の確保

差 (イメージとして他	し替え車max 1地域のものを言	備考 己載)
(A)必要車両台数	17台	□
(B)確保車両台数	計17台以上	
確保 保北海道バス協会 先	17台以上	PAZ・UPZ町村が所在する後志 地域のバス会社が保有する車両 総数1,252台

※ 本別の事能により確保した輸送能力で対応できない場合 宇動組織(警察 消防 海保庁 白衛隊)に支援を要請

那珂市において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保



(5-2)

- ▶ ○○○○は、住民避難用バスを調整・確保する。

とまりむら

<沪┤□のいし王川系忌争忠じ必安とはる制込形儿>

	想定対象人数※	必要車両台数	備考
バスにより避難する住民	473人	17台	ス集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P46】
			レ主いおこ

※ 数字は現段階で泊村が把握している暫定値

とまりむら

<泊村における全面緊急事態での輸送能力の確保>

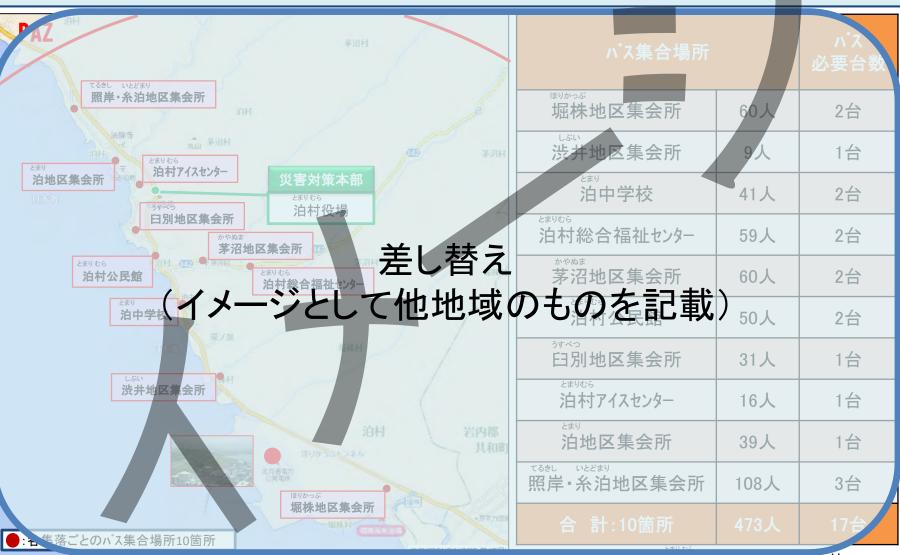
差 (イメージとして他	し替え _{乗車台数} 」地域のものを言	備考 己 載)
(A)必要車両台数	17台	U T ,
(B)確保車両台数	計17台以上	
確保 保北海道バス協会 先	17台以上	PAZ・UPZ町村が所在する後志 地域のバス会社が保有する車両 総数1,252台

東海村におけるバス避難の住民の数



(5-3)

- ▶ PAZ内のバスにより避難する住民は合計約●人。
- 東海村では、●箇所のバス集合場所を設置し、バスにより避難する住民は、あらかじめ指定されたバス集合場所に集合。

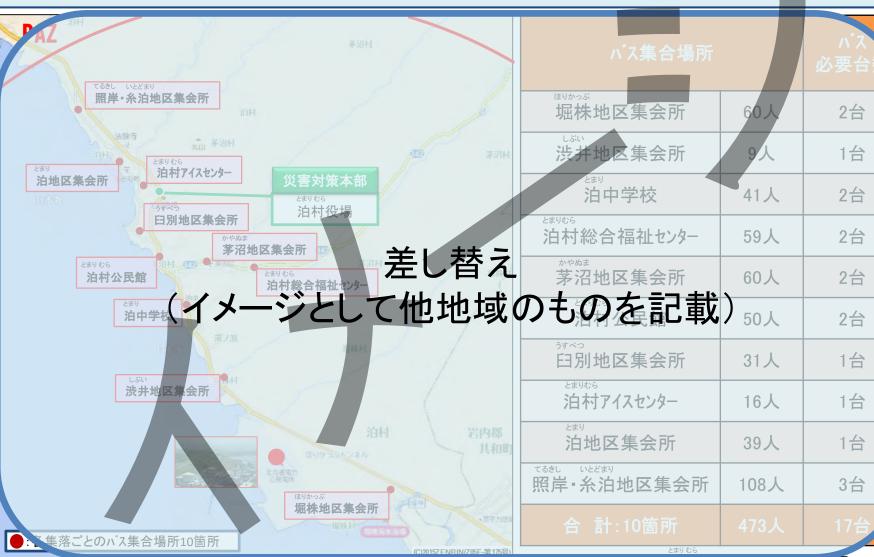


日立市におけるバス避難の住民の数



(5-3)

- ▶ PAZ内のバスにより避難する住民は合計約●人。
- ▶ 白立市では、●箇所のバス集合場所を設置し、バスにより避難する住民は、あらかじめ指定されたバ ス集合場所に集合。



ひたちなか市におけるバス避難の住民の数



(5-3)

2台

1台

2台

2台

2台

2台

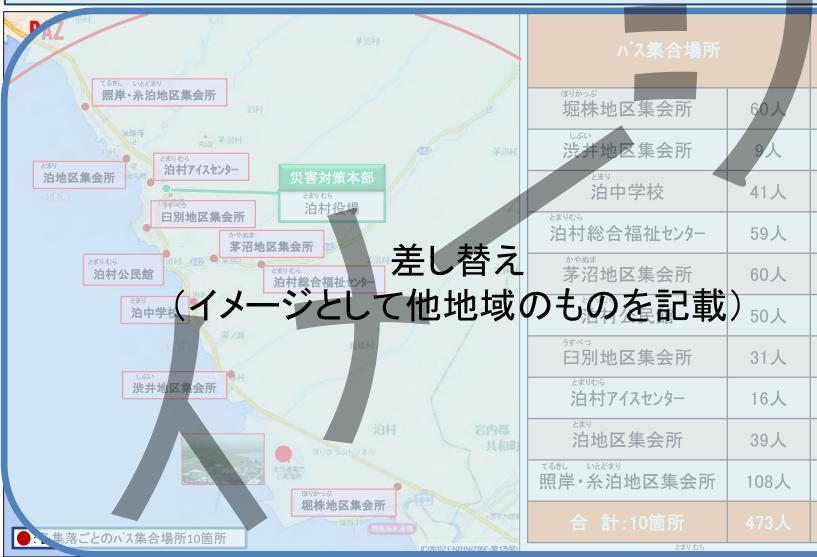
1台

1台

1台

3台

- ▶ PAZ内のバスにより避難する住民は合計約●人。
- ひたちなか市では、●箇所のバス集合場所を設置し、バスにより避難する住民は、あらかじめ指定されたバス集合場所に集合。



那珂市におけるバス避難の住民の数



(5-3)

- ➤ PAZ内のバスにより避難する住民は合計約●人。
- ▶ 那珂市では、●箇所のバス集合場所を設置し、バスにより避難する住民は、あらかじめ指定されたバス集合場所に集合。



	パス集合場所		ハ・ス 必要台数
	堀株地区集会所	60人	2台
	没并地区集会所	9人	1台
	泊中学校	41人	2台
	泊村総合福祉センター	59人	2台
100	茅沼地区集会所	60人	2台
(のものを記載)50人	2台
	臼別地区集会所	31人	1台
	治村アイスセンター	16人	1台
]	泊地区集会所	39人	1台
200	照岸•糸泊地区集会所	108人	3台
			17台
	とまりむら		



(5-4)

自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。



ロ立市におけるPAZ内から避難先までの主な経路



(5-4)

自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。



ひたちなか市におけるPAZ内から避難先までの主な経路



(5-4)

自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。



那珂市におけるPAZ内から避難先までの主な経路



(5-4)

▶ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。



避難を円滑に行うための対応策①



(5-5)

▶ 住民の避難が円滑に進むよう、茨城県警察は、ヘリコプター、車両感知器等を活用して、交通状況を 把握するとともに, 交通規制を行う。

(ルスツリゾート)

(札幌市南区体育館) 交通誘導対策 自家発電機能付の信号機の設置や PAZ 円滑な避難誘導を実施 交通広報対策 日本道路交通情報センター(JARTIC)、道 路情報板等を活用した広報 光ビーコンを活用した交通情報提供システ 差し替え ム(AMIS)による広報 交通規制対策 ジとして他地域のものを記載) おける信号操作等により避難の円滑化 を図る 【凡.例】 :自家発電機能付信号標



【交通情報板】



【道路情報板】



- ●:交通整理地点
- : 交诵規制地:
- 交通情報板
-]:道路 法超短

避難を円滑に行うための対応策②



(5-5)

≫ 茨城県、東海村、日立市、ひたちなか市、那珂市では、発電所で緊急事態が発生した場合における住民が取るべき行動や避難先等の情報についての普及啓発を継続的に実施。



自然災害等により避難先が被災した場合の避難先の調整



(5-6)

対応方針について検討中

